



FETCO® CBS-6000 シリーズ

(CBS-61H, CBS-62H)

取扱説明書



CBS-61H



CBS-62H

※いずれもディスペンサーは別売りです。

このたびは、当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に“安全上のご注意”はご使用前に必ずお読みください。
この説明書に反する取扱いによる損傷は、いかなるものでも一切の責任を負いません。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

株式会社マグナ

もくじ

安全上のご注意	2
安全上のご注意	2
警告と危険を示すマーク	4
テクニカルデータ	5
各部名称	6
マシン外部	6
ディスペンサー	6
抽出方法	7
抽出の手順	7
ディスペンサー	8
お手入れ	9

安全上のご注意

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う危険が予想される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	このような絵表示は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。

 警告	
	屋外据え付け禁止 屋外で使用しないでください。漏電、感電の原因になります。
	床が丈夫で水平なところに確実に据え付ける 製品質量に十分耐えられる丈夫で水平な床やテーブルに据え付けてください。 不完全な据え付けは転倒や落下によるけがの恐れがあります。
	アース工事を行なう アース工事を行なってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は、感電の原因になります。
	水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けない 漏電により感電や火災の原因となります。
	分解禁止 修理技術者、専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。異常動作をしてケガをしたり、感電、火災の原因になります。
	製品の上に乗らない 転倒・落下によりケガや破損の原因になります。
	可燃性スプレーを近くで扱わない シンナーなどの可燃物や可燃性スプレーなどを製品の近くで使用しないでください。電気接点のスパークで爆発や火災の恐れがあります。
	製品に水をかけない 製品に直接水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因になります。

	異常時には電源プラグを抜く 異常時には電源プラグを抜くか、元電源を切って運転を停止してください。異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。
	専用コンセントの使用 電源は専用コンセントを使用してください。電源コードを途中で接続したり延長コードの使用やタコ足配線をすると、感電や発熱・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけない 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
	濡れた手で電源プラグに触らない 濡れた手で電源プラグ等の電気部品には触れないでください。また、スイッチの操作をしないでください。感電の原因になります。
	電源プラグを持って抜く 電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して感電や発熱・火災の原因になります。
	電源を切って作業する いかなる作業も、マシンが停止し電源を切った後に行なってください。感電の原因になります。
	漏電遮断器をつける 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
	漏電遮断器が作動したとき 漏電遮断器が作動したときは、販売店または専門技術者にご相談ください。無理な電源復帰を行うと感電・火災の原因になります。
	移動 移動するときは転倒に十分注意してください。けがの原因になります。 また、排水をきちんと行なってください。水漏れによる漏電・感電の原因になります。
	廃棄 廃棄は販売店または専門技術者に依頼してください。放置による環境汚染や、幼児が閉じ込められるなど事故発生の原因になります。

注意

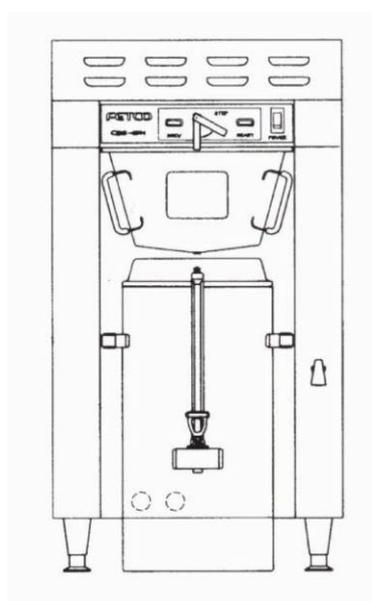
	電源プラグは定期的に点検する 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、確実に差し込んでください。 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
	長期間使わないとき 長期間ご使用にならないときは、必ず排水し電源プラグをコンセントから抜いてください。飲料の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因となります。
	保管 雨水のかからない場所に保管してください。再使用のときに漏電、感電の原因になります。 幼児が遊ぶ場所を避けてください。事故発生の原因になります。

危険と警告を示すマーク

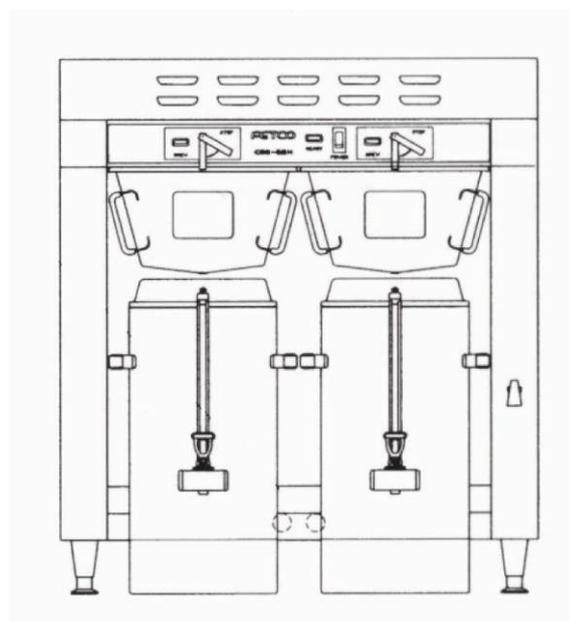
	警告：電気関連による危険 安全基準を正しく守らずに操作すると、感電などに及ぶことを意味します。
	警告：一般的な危険 安全基準を正しく守らずに操作すると、人体などへの被害に及ぶことを意味します。
	注意 非常に重要であることを意味します。このマークのある箇所は特に注意してください。
	警告 説明書に従わないと、駆動部品または電気関連部品の損傷、操作不能、または深刻な誤動作を引き起こすことを意味します。

テクニカルデータ

モデル名	CBS-61H	CBS-62H
サイズ (幅×奥行×高さ)	543 x 546 x 1016	901 x 546 x 1016
重量	乾燥時 50.0kg	乾燥時 88.5kg
	満水時 80.0kg	満水時 141.0kg
電気仕様	三相 200V	三相 200V
消費電力	6,300W	12,500W
能力(1時間)	108L	216L
使用ろ紙	立ろ紙 51cm	立ろ紙 51cm



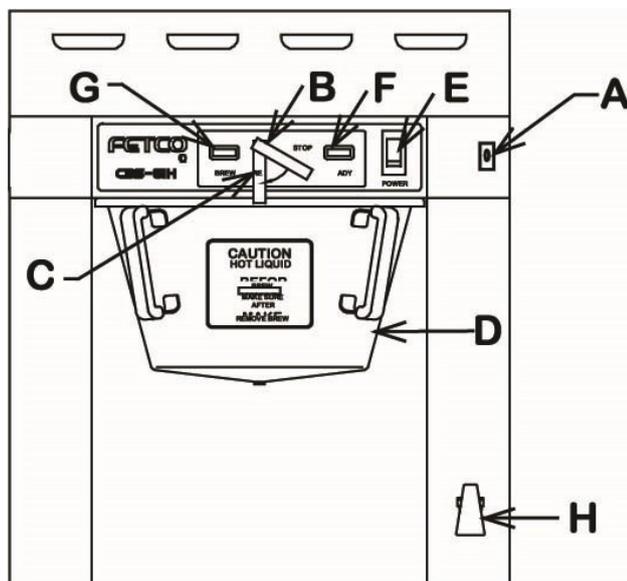
CBS-61H



CBS-62H

各部名称

マシン外部



- A: フル／ハーフバッチ切り替えスイッチ
(オプション)
- B: 抽出レバー
- C: セーフティーバー
- D: ファンネル
- E: 電源スイッチ
- F: レディランプ
- G: ブリュランプ
- H: 給湯コック

ディスペンサー



抽出方法

抽出の手順

1. 電源スイッチをONにします。ボイラーが沸きあがるとレディランプ(グリーン)が点灯します。レディランプ(グリーン)の点灯確認後、ファンネルとディスペンサーをセットし(ろ紙、コーヒー粉は使用しません)一度カラ抽出を行いディスペンサー内部を温めておくことをお勧めします。
2. ディスペンサー内のお湯を全て空にしてください。
3. ファンネルにろ紙をセットし、設定量にあったコーヒー粉を入れます。
4. ファンネルをマシンに正しくセットしてください。
5. フル/ハーフバッチ切り替えスイッチで抽出量を確認してください。(オプション)
6. ファンネルの穴の位置を確認しながら、ディスペンサーを下に置いてください。

警告

ディスペンサーがカラであることを必ず確認してからセットしてください。
火傷の恐れがあります。



7. 抽出レバーを真下に下げ抽出スタートとなります。
(左右同時抽出も可能です。)

警告

抽出中にファンネルを抜くと危険です。ファンネルを外すときは、必ずコーヒーがファンネルの穴から落ちるのが完了したことを確認してからにしてください。火傷の恐れがあります。



8. 抽出終了後はディスペンサーのフタを締め、取出しコックを閉めてください。

注意

フタを閉めないで、ディスペンサー内のコーヒーの温度が急激に下がる場合があります。



9. 抽出中は、給湯コックは使用しないでください。

ディスペンサー

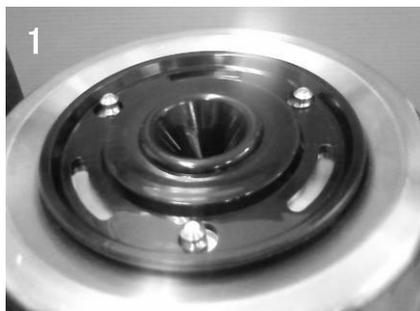
①抽出後の運搬時や保管する場合

1. セーフティーロックが確実に入るまでディスペンサーカバーを回して締めます。
2. 水位計キャップを締めます。
3. 通気キャップを締めます。



②抽出の際

1. ディスペンサーカバーを回して外します。
2. 水位計キャップを締めます。
3. ファンネルの下、コーヒー出口に位置を合わせてセットします。
4. 抽出完了後、水位計キャップを緩めます。(水位計にコーヒー量が確認できます)



お手入れ

○毎日の作業

- ・ ファンネルを外し、コーヒーの残りや跡だれが残らぬよう よく洗ってください。

○毎日/毎週の作業

- ・ シャワープレートを外し、カルキ残りを洗い落とす(水の硬度が高い場所では毎日行なう)
- ・ シャワープレートの穴に詰まりがある場合、器具を用いて穴を洗浄する(このとき、金属製や研磨製のある器具は使用しないこと)

警告

シャワープレートを外す際、お湯が上にたまっている場合があります。
火傷にご注意ください。



○3ヶ月毎の作業

- ・ お湯の温度を点検し、必要であれば設定しなおす
- ・ 抽出量を点検し、必要であれば設定しなおす
- ・ 水漏れがないか すべての接続部やホースを点検
- ・ ボイラー内にスケールが付着してないか点検(サービスを依頼)

トラブル時のご連絡先

マグナ・コールセンター 03-3452-5678



〒108-0023 東京都港区芝浦2-13-8
Tel 03-3455-7931 fax 03-3453-0344